

新年度！新たなESDのスタート！

新年度がスタートし、各学校では、ユネスコスクールとしての具体的な活動が始まったことと思います。さて、平成28年度の取組をまとめた「大牟田ESDコンソーシアム活動報告書」が発行されました。各校の取組内容や研修会のまとめが掲載されています。この報告書を参考にして、今年度の取組をすすめていきましょう。

今年度、大牟田市学校教育振興事業計画において、ESD関連では、次の2つの事業が重点事業として挙げられています。これまでの実践をふまえ、新たな大牟田市のESDを創造する機会になると思います。各学校の特色を生かした実践に子どもたちの実態をふまえ、取り組んでいきましょう。

○おおむた・みらい・ESD推進事業

○人と海と未来をつなぐ海洋教育推進事業



本年度の委員と主な行事

☆平成29年度 ユネスコスクール担当者会

会長：荒木秀敏(大牟田中央小)

担当校長：古賀信弘(天領小) 西田 雅子(大牟田特別支援学校)

担当教頭：高口直喜(吉野小) 戸塚俊也(大牟田中央小)

辛川和秀(白光中)

部長：杉野浩二(橘 中)

副部長：溝上尚子(玉川小) 高倉洋美(宮原中)

推進委員：龍 寿(中央小) 田中啓吾(駛馬北小) 森 洋祐(大正小)

大膳誠司(高取小) 田中啓幸(上内小)

葉玉稔大(白光中) 松山 薫(田隈中)

どうぞ、1年間、よろしくお願いします。

☆主な行事予定

(1)ユネスコスクール・ESD研修会

平成29年8月23日(水)

(2)ユネスコスクール全国大会

平成29年12月2日(土)

(3)ユネスコスクール子どもサミット

平成30年1月13日(土)



教えて！大牟田のESD

この数年、多くの先生方が大牟田市に採用されています。そこで、大牟田市の小中学校がすべて加盟しているユネスコスクールとまちを挙げて取り組んでいるESDについて、もう一度、確認しておきましょう。

Q1 ユネスコスクールってどんな学校ですか？

ユネスコ憲章に示されたユネスコの理想を実現するために平和や国際的な連携を実践する学校であり、ユネスコが認定する学校です。現在、世界182の国・地域で10,000校以上のユネスコスクールがあります。国内の加盟校数は申請中の学校を含め1012校です(平成29年4月現在)。文部科学省及び日本ユネスコ国内委員会では、ユネスコスクールをESDの推進拠点と位置付けており、その質を確保するため、ユネスコスクールガイドラインが策定されています。

Q2 ESDってどんな考え方ですか？

ESDは、Education for Sustainable Development の略で、「持続可能な開発のための教育」と訳されています。環境、貧困、人権、開発などの様々な地球規模の課題について、自分のこととしてとらえ、その解決に向けて自分から行動を起こす力を身につけるための教育です。ESDの考え方は学習指導要領で示されている「生きる力」という理念に通ずるもので、グローバル人材の育成にも資する重要なものです。